

§ 語学批評 §

生徒氏名       ○○○○      

課題名       心理英語入門 No.1      

《概評》

* 文法力	A	<input type="checkbox"/> B	C	D
* 語彙力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D
* 構文把握力	A	<input type="checkbox"/> B	C	D
* 読解力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D
* 和訳表現力	<input type="checkbox"/> A	B	C	D

《総合評価》  A    B    C    D

入門は、簡単な文が使われていますが、十分よく出来ています。

部分否定とか、**It・・・to** 不定詞など基本も大切です。

詳しくは本文中の赤を参照すると共に、解答例をご覧ください。

和訳の文章がしっかりできています。

● **Not always・・・**は出来ていました。しかし、**not usually・・・**も、意味は部分否定なのですから

「いつも・・・ではない」「普通は・・・ではない」と訳すと「全部否定」になってしまいますから誤訳になります。うっかりすると間違ってしまうので要注意です。

● ⇒ **【科学的であることは重要だ】 it・・・to 不定詞** の構文です。「それが・・・であることが」では間違いです。

● 実験を経験と訳すのは間違いです。

間違っている時に、元の英文がないと、うまく指摘できません。

次回から、和訳文だけを出すのではなく、できるだけ英文と和訳文を両方出してください。

対訳がよいですが、英文と和訳をいくつかずつセットにするのもよいです。結果として、英文を、もっと見つめる機会が増えるので、ちからがつきます。

## Toward a definition of psychology

Most psychologists try hard to make a clear distinction between what is proper psychology and what isn't. So, how do psychologists define "Psychology"? Well, there are difficulties in finding one universally accepted definition. Although most psychologists agree that it is important to be scientific –to avoid muddled thinking – it's not always clear exactly what this means.

【心理学の定義に向かって】

○多くの心理学者が、**本物の**（一生懸命の）心理学とそうでないものの明白な区別を作ろうとしている。

○それでは、どうやって心理学者たちは「心理学」を定義すればいい？

○そう、普遍的に確立した一つの定義を見つけることは難しい。

多くの心理学者たちが、混乱した思考を避けるために×【それが科学であることが重要だということ】に賛成しているけれど、○これが意味するところは、いつも明白に正確であるとは限らない。

⇒【科学的であることは重要だ】 it・・・to 不定詞 の構文です。「それが・・・であることが」では間違いです。

Another difficulty is the **practical** problem – some say “impossibility”! - of studying the “mind” directly. Indeed, even trying to define “mind” is very difficult. Some psychologists have avoided this completely, especially the behaviorists, like B. F. Skinner and J. B. Watson. Skinner said “We do not need to try to discover what personalities, states of mind, and feelings really are in order to get on with a scientific analysis of behavior.” Watson said “Never use the terms consciousness, mental states, and mind.”

○もう一つの難しさは現実的な問題である。

○直接「こころ」を**直接に**研究することについて、「不可能！」という人もいる。

○確かに「こころ」を定義しようとするこゝとさえ、非常に難しい。

○これを完全に避けてきた心理学者たち、とくに B.F.スキナーや J.B.ワトソンのような行動学者もいる。

○スキナーは「私たちは、科学的な行動分析でうまくいくためには、人格やこころの状態そして**感情感覚**が、本当は何であるかを発見しようとする必要がない。」と言った。

△ワトソンは「【決して意識や精神状態そしてこころの言葉を使わない。】」と言った。

“Never use・・・”と主語がないのは、命令文だからです⇒「【決して意識や精神状態そしてこころの言葉を**使うな。**】

In practice, therefore, most psychologists concentrate on what is observable and measurable in person's behavior, including the biological processes in the body. At the same time, despite the extreme views of certain behaviorists, the "mind" is still generally considered to be central to the subject.

○実際に、それゆえに多くの心理学者は、身体の生物学的な過程を含む人間の行動の中で、観察でき測定できるものに専念した。

○同じ時期、特定の行動学者たちの極端な見解にもかかわらず、「こころ」はまだ一般的に、その題目の中心であるとみなされていた。

Thus, commonly accepted "working definition" is: Psychology is the scientific study of the mind and behavior of humans and animals. However, doesn't that definition also apply to Sociology? It is similar, but Sociology is generally about the study of large groups of people –in societies or sub-cultures. Psychology, on the other hand, is mainly about individuals or small groups of people, as in Social Psychology.

○このように、一般に確立した「実用的な定義」は、「心理学は、人間と動物の行動とこころについての科学的な学問だ」というものである。

※ study も研究と訳して構いません。

○しかしながら、その定義はまた、社会学にも適用できないだろうか？

○それはよく似ているが、社会学は一般的に、社会あるいは下位文化の中の人々の大集団についての学問である。○一方、心理学は、主に社会心理学のように個々や小集団についての学問である。

There are also differences in the methods used. In psychology, there is emphasis on 【 but in Sociology that method is not usually possible for practical and ethical reasons. So observations and surveys are more commonly used.

○使われる方法においてもまた違いがある。

心理学では実験 ×経験 が重要視されるが、社会学では現実的な倫理の理由のため

×【ふつうはその方法はありません。】

that method is not usually possible この文の意味は「部分否定」です…

×普通はあり得ない は誤訳です⇒ ○ いつも可能とは限らない

○だから、観察と調査はより一般に使われた。

正答

### 心理学の定義に向けて

たいていの心理学者は、まっとうな心理学とそうではない心理学とを明確に区別しようと一生懸命である。それでは、心理学者は「心理学」をどのように定義するのだろうか。実は、一般に受け入れられる定義を見つけるのは難しい。たいていの心理学者は、科学的であること（つまり、混乱した考えを避けること）が重要だということに同意するけれども、これが正確に意味することは必ずしも明確ではない。

もう一つの難問は、心を直接研究することの現実的な問題である - 不可能だと言う人もいる - 。実際、「心」を定義しようとするこゝとさえとても難しい。一部の心理学者、特にスキナーやワトソンのような行動主義者は、この問題を完全に避けてきた。スキナーは、「行動の科学的分析を続けていくために、パーソナリティや心の状態や感情が実際にどのようなものであるかを理解しようとする必要はない」と言った。ワトソンは、「意識や心の状態や心といった用語を決して使ってはいけない」と言った。

それゆゑ、実際たいていの心理学者は、身体の生物学的過程を含めて、人の行動の観察可能で測定可能なものに焦点を当てる。同時に、一部の行動主義者の極端な考えにもかかわらず、「心」が心理学の研究テーマであると未だに一般的に考えられている。

したがって、広く受け入れられている作業上の定義は、「心理学は人間や動物の心と行動の科学的研究である」というものである。しかし、その定義は社会学にも当てはまるのではないだろうか。社会学は類似しているが、社会学は一般に社会やサブカルチャーにおける人々の大きな集団の研究に関係する。それに対し、心理学は主に個人や社会心理学のように小集団に関係している。

用いられる方法にも違いがある。心理学では実験を重要視するが、社会学では - 現実的な理由や倫理的な理由のため - 実験はたいてい不可能である。それゆゑ、観察と調査がより一般的に用いられる。